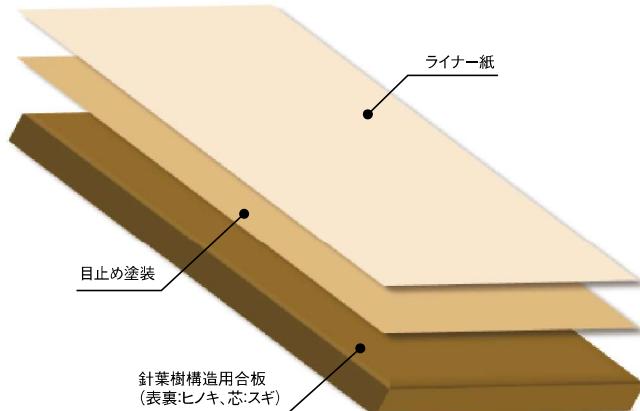


# S-Guynar

国産針葉樹クロス下地合板 S-ガイナー

| 国産材100%使用 | 針葉樹クロス下地合板 |



## 特長

台板に  
国産スギ・ヒノキ100%の  
針葉樹合板を使用

針葉樹特有の抜け節や割れを  
特殊な目止め処理により平滑に仕上げ、  
ライナー紙を貼った  
クロス下地用合板です。

手摺やエアコン取付部、  
壁掛けテレビ下地等  
ビス保持力が必要な箇所に  
有効

特殊紙貼り仕様のため  
クロスの色ムラの心配なし

木口は面取り済み  
施工性が良好

12.5x3x6サイズ  
約10.5kg  
軽くて運搬も容易

ヒラタキクイムシ等の  
虫害にあいにくい  
樹種を使用

国土交通省  
大臣認定  
取得!  
★★★

厚み(㎜)	幅(㎜)	長さ(㎜)	入数(枚/山)	ホルムアルデヒド 発散等級*	備考
12.5	910	1820	90	F☆☆☆☆	国産スギ・ヒノキ 100%使用
9.5	910	1820	120	F☆☆☆☆	

\*一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会自主表示登録  
化粧板等のホルムアルデヒド発散等級自主表示制度 F☆☆☆☆(K-002905)

※対象商品は12.5mm厚のみとなります。  
9.5mm厚は耐力壁大臣認定品としての  
使用はできませんので、ご注意ください。

木造軸組工法／大壁床勝ち仕様

壁倍率  
**3.7倍**

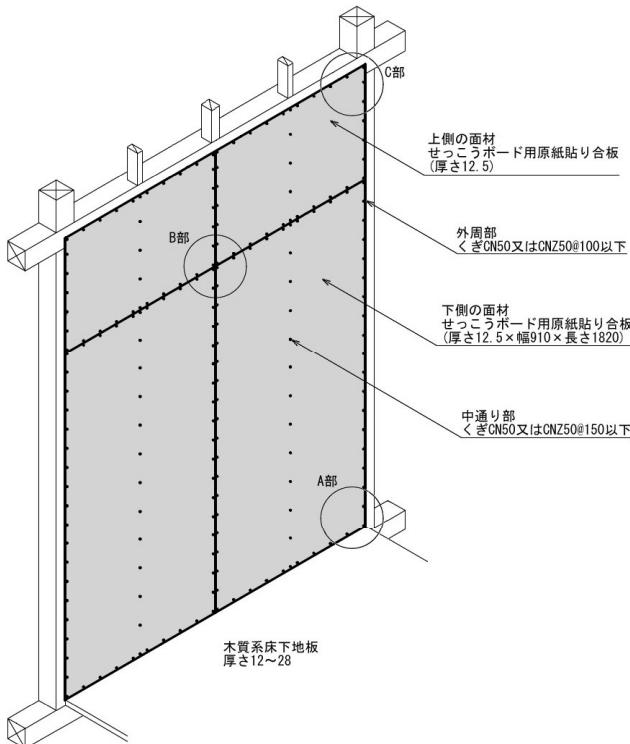
木造軸組工法／大壁床勝ち入隅仕様

壁倍率  
**3.5倍**

## 大壁床勝ち仕様

壁倍率 3.7倍

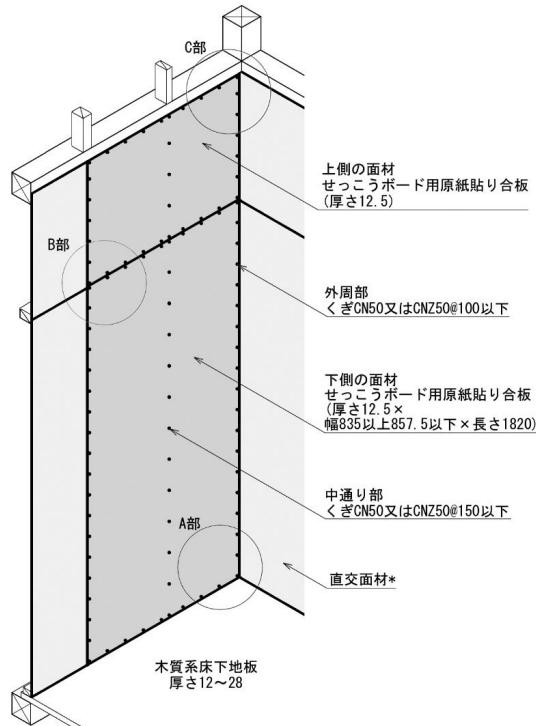
【施工図】



## 大壁床勝ち入隅仕様

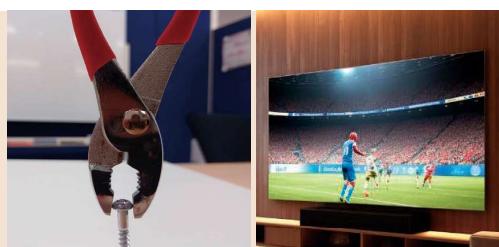
壁倍率 3.5倍

【施工図】



### S-ガイナー耐力壁の適用条件

製品サイズ	12.5×910×1820
工法	木造軸組工法
壁幅	尺モジュール（柱芯々寸法：910mm）
壁高さ	横架材間の高さ範囲 大壁床勝ち仕様 : 2,420~2,900mm 大壁床勝ち入隅仕様 : 2,605~2,900mm
下部納まり	床勝ち納まり 下受材へのかかり代は30mm以上
上部納まり	上部横架材へのかかり代は50mm以上
壁倍率	大壁床勝ち仕様 : 3.7倍（認定番号 FRM-0724） 大壁床勝ち入隅仕様 : 3.5倍（認定番号 FRM-0725）
釘の種類	CN50またはCNZ50
釘ピッチ	外周100mmピッチ・中通り150mmピッチ
他耐力壁との併用	上限5.0倍を限度として壁倍率を合算可能



## 抜群

のビス保持力で階段まわりや  
壁かけテレビ設置箇所も下地いらず

木ネジ保持力試験結果(JIS A5908に準拠)

単位 = N



石膏ボード

57

ラワン合板

510

S-ガイナー

551

※試験成績データであり性能を保証するものではありません。

# 使用上の注意

## 安全上の注意

- 安全に配慮した服装、ヘルメット、保護メガネ、マスク等の適切な保護具を着用して下さい。
- 施工する際の切断作業では、集塵などに留意し、防塵カッターや集塵丸鋸を使用して下さい。  
また、サンディング等の作業をする際は、防塵マスクや安全メガネを着用し、粉塵を体内に取り込まないよう注意して下さい。
- くぎ打ち機で施工する場合は、S-ガイナーを挟んで反対側に人がいないことと下地の位置を確認してから施工して下さい。
- 工事現場でクレーン車を使い階上に揚げる際は、周囲の安全を確認し積み荷の下に入らないようにして下さい。

## 注意事項

- 内装用クロス下地合板のため、クッションフロアシートの下地や屋根野地の下地等の他の用途では使用しないで下さい。
- 珪藻土、漆喰、ペンキ仕上げ等の下地材には使用しないで下さい。
- 出隅コーナー部などにご使用の場合は、必ず合板基材の木口面の下地処理をお願いします。
- 保管は化粧面を合わせ（面々合わせ）、雨濡れ・水濡れしないようにご注意下さい。
- 保管及び輸送の際は、水濡れしないように十分注意して下さい。水濡れにより変色する場合がございます。
- 合板基材のため、水濡れ状態や温度・湿度環境から、膨張や収縮等の寸法変化、表面平滑性に影響が及ぶ可能性がございます。  
保管や施工環境には十分にご注意下さい。
- 外部環境要因により軸組材や下地材も伸縮しますので、推奨施工によってクロスの不具合防止を保証するものではありません。
- 間接照明が当たる場所は、下地の状態がクロスに目立つ場合がありますので入念な下地処理を実施して下さい。
- 他の製品からホルムアルデヒドを吸収するおそれがある為、ホルムアルデヒドの散布量が多い製品とは、距離をとって保管して下さい。

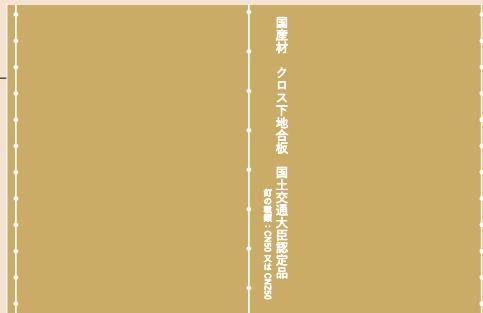
## 指定事項

- S-ガイナーの耐力壁大臣認定は木造軸組工法用である為、 $2 \times 4$ 工法、鉄骨造、鉄製壁下地には使用できません。
- S-ガイナーを耐力壁として使用する場合は、 $12.5 \times 910 \times 1820$ サイズをお使い下さい。9.5mm厚は耐力壁大臣認定の対象外です。
- ネイルマークは印刷の都合上、若干のズレが生じる場合がありますので、ネイルマークは目安とし所定の位置でくぎ打ちして下さい。
- 面材の留め付けにはCN50又はCNZ50のくぎを使用して下さい。
- くぎ頭はS-ガイナーの面と面一になるよう打ち付けてください。
- くぎ打ち機を使用する場合は、くぎ頭が面一となるようエアー圧を設定してください。  
くぎ頭が残った場合はハンマーで打って下さい。
- 耐力壁は、くぎの種類、ピッチ、くぎ位置を守らないと所定の強度を確保できません。施工要領書に従い正しい方法で施工して下さい。



## 釘ピッチ入りで施工が容易に！

- 室内側にS-ガイナーを使用することで、耐震等級取得に有効活用できます。また耐力壁が増え大開口がとりやすくなります。
- 筋交い仕様と比較し、省施工、断熱材施工も容易です。
- 釘ピッチ印刷により、直感的な施工が可能です。



施工方法について詳しくは「S-ガイナー施工要領書」をご確認ください



「木」を軸にしたバリューチェーン「WOOD CYCLE」を回すこと

# 脱炭素社会の実現に貢献

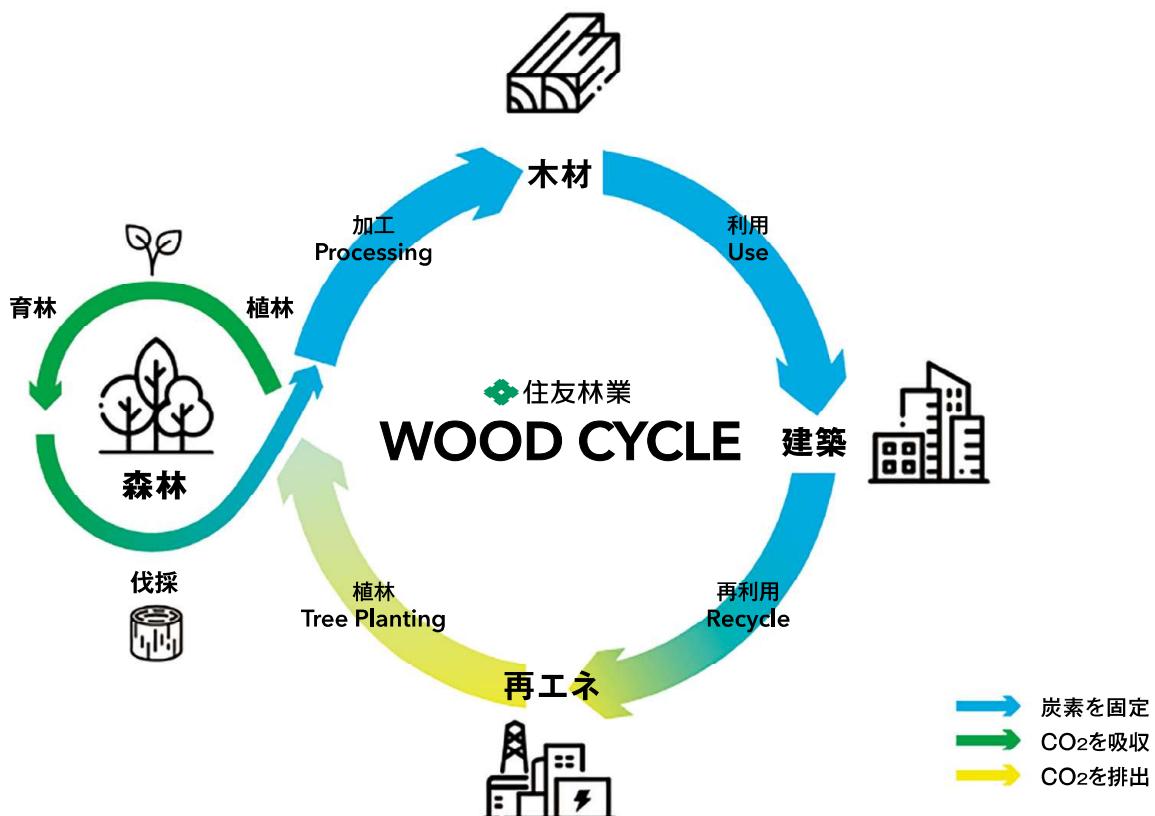
住友林業グループは森林経営から流通・木造建築・バイオマス発電まで「木」を軸に事業活動を展開しています。

このユニークなバリューチェーンを「WOOD CYCLE」という図で表現しました。

我々はこの「WOOD CYCLE」を回すこと、つまり森林のCO<sub>2</sub>吸収量を増やし、木材の炭素固定を促し、

木造建築で長期間にわたり炭素固定することで脱炭素社会へ貢献できるのです。

この事業全体を通じて、自社のみならず、社会全体のCO<sub>2</sub>吸収・固定に寄与していきます。



持続可能な木材の調達



木造戸建て住宅向け資材  
非住宅向け資材



RCO  
(排出ガス燃焼装置)



端材を使った木質ボイラー

S-ガイナーの原料には国産のスギ・ヒノキを100%使用しています。森林の伐採・再植林を通して最適な森林経営を行います。

社会全体の木造・木質化により炭素固定\*を推進。CO<sub>2</sub>排出量を削減し、脱炭素社会に貢献します。

S-ガイナー製造時に排出される臭気・ガスは外部排出前に燃焼され、ほぼ純粋な水蒸気に近い状態まで浄化されます。

S-ガイナー製造に必要な熱源は工場から出る端材を利用した木質ボイラーより捻出。化石燃料由来のCO<sub>2</sub>排出を抑制します。

\*木が吸収したCO<sub>2</sub>を炭素として内部に貯留する機能。伐採した木を木造建築や家具などの木材製品に活用することで、CO<sub>2</sub>を長期間、大気に排出せずに済む。

## 【お問合せ先】

住友林業株式会社 木材建材事業本部 産業資材営業部  
TEL:03-3214-3380 FAX:03-3214-3382

販売 住友林業株式会社

製造 住友林業クロス株式会社